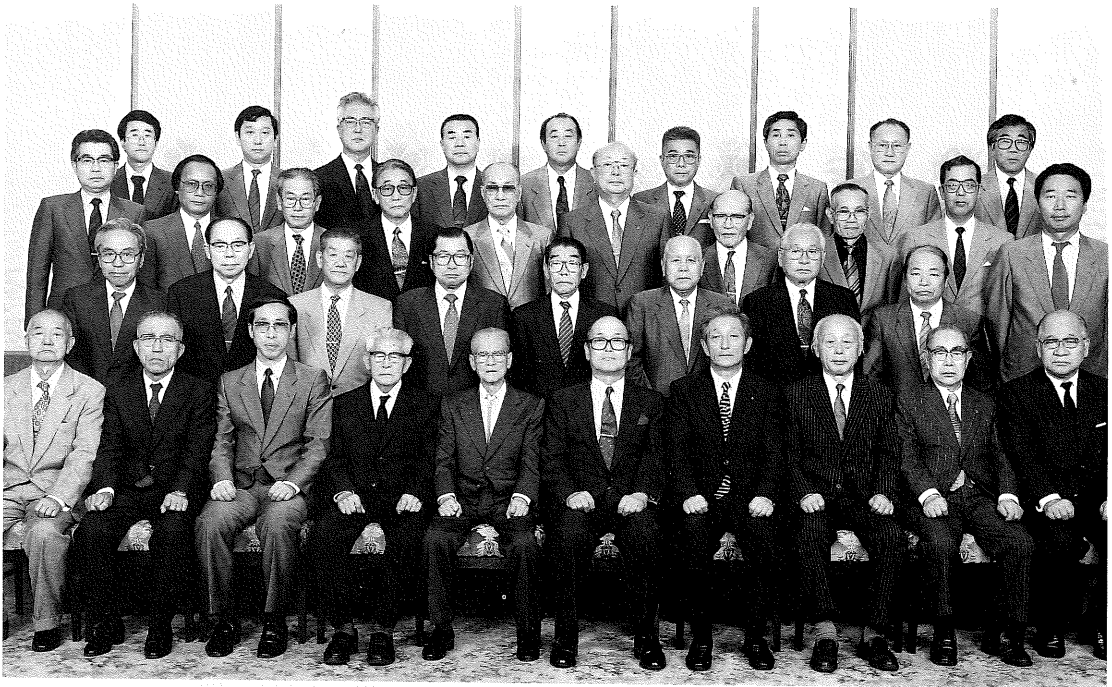


# 京橋の印刷

8月10日 1991・No.80

東京都印刷工業組合京橋支部  
〒104 東京都中央区新富1-16-8  
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人  
田島 弘



東京都印刷工業組合京橋支部 長寿者の集い

平成3年6月26日 於 京橋会館

## 見失った金銭哲学

副支部長 近藤正弥

金融と証券のトップ企業が相ついで不祥事件を起こしたことで日本が世界の笑い物になっている。そして、このことが日本ばかりでなく、世界経済にも大きな影響を与えていることは衆知のことが、特に証券トップの大口顧客にのみ損失補填をしたという行為に、腹の虫が治まらないのは、私ばかりではないだろう。

しかし、冷静になって考えて見ると、こうした問題が表面化した背景には、発生するに足る十分な土壌があったということだ。一連の経済事件や動きを見ると成るほどと思われることが多いが、共通していることは金銭感覚が麻痺していることである。このことは平和であるべき各家庭においても同じである。だが、残念なのはリーダーたるべき政界・官界・経済界・教育界から宗教界に至るまで同じレベルで事が処理されていることである。同じレベルというのは金銭万能主義が覆っているということである。

これが利己主義となり、そして集団利己主義に発展し、日本が国際的に批判されている由縁である。これをもっと具体的に云うと、我々は金銭に対する哲学を見失ったのではないかということがある。日本人にとって今大事なことは利己主義、経済至上主義についてそれが日本の将来にどんな運命をもたらすかを、単なる反省ではなく徹底的に論議すべきだろうと思う。

# 東印工組京橋支部、通常総会、開催

5月15日(水)  
築地スエヒロ

5月15日(水)、午後5時30分より、築地スエヒロ別館にて、恒例の京橋支部通常総会が行われました。当日は雨模様で出足がやや遅れましたが、定刻過ぎて小倉副支部長の司会により、まず石井副支部長の開会のことばのあと、田島支部長が次のように挨拶しました。「本日は大変お忙しい所をご来場下さいまして有難うございます。又、来賓の方々には、公私ご多用のなかご来場下さいまして有難うございます。さて昨年度は中央区の産業文化展を中心に、新年総会等の行事を行いました。皆様方の絶大なるご支援を戴きまして感謝致しております。組合の100周年事業につきましても、大変ご負担をお掛けしたようにも思っています。本年度は支部執行部も2年目に入ります。6月に、長寿者の集い“を開催しますので、70才以上の該当者のおられる組合員の方はぜひ参加下さるようお願いいたします。又10月には永年勤続従業員表彰も行う予定です。やっと支部行政にも判ってきましたが、これからの行事につきましても皆様のご協力をお願い申し上げます。本日は十分ご審議の程をお願い申し上げます。」と挨拶しました。

議事に先立ち、司会者から議長、副議長の選出をとの発言に対して、司会者に一任との声があり、議長には、秀英堂紙工印刷(株)の坂田利正



氏、書記に福田印刷工業(株)の今竹氏が選出された。

まず第1号議案の平成2年度事業報告が近藤副支部長によって説明されました。事業報告書の総論の中で「対外的には中央区の行政には、地場産業の育成の見地から印刷団地の確保を求めて、又対内的には支部員の増強に努力するほか、近い将来には日本橋支部との合併も考えて、基盤の強化に努めねばならない。」とし、昨年

度は支部員の転入が3社、脱退が6社で、やや落着きつつあるが、人手不足や後継者難による廃業で数の減少は続くものと思われ、印刷業経営の厳しさは依然として続くと述べました。

第2号議案は佐藤副支部長より、平成2年度収支決算報告が読み上げられ説明されて、繰越金は百六万円余の黒字となったと述べました。

続いて同会計監査報告が永島・木島両監査により行われて、会計処理が正確に行われた事を確認されました。そして坂田議長から1・2号議案の質問が求められ、全会異議なく承認されました。次に第3号議案の平成3年度事業計画(案)が近藤副支部長より説明され、本部事業への協力、支部事業の開催、地区事業への協力、組合増強運動の継続、「京橋の印刷」の刊行、中央区工団連事業への参画・協力が述べられた。第4号議案の収支予算案は佐藤副支部長により説明され、それぞれ拍手の中に承認されました。第5号議案として来年に予定される次期役員選考委員の選出について、田島支部長より、本部役員の早期選出上、支部長候補も本年中に内定しておかねば間に合わないとの事で、もし異議がなければ、次の方々を推薦委員に指名したいと次の9名の方々が推されました。



石沢・小宮山顧問、小山・小葉・田島相談役、田島支部長、近藤副支部長、永島監査、永井地区長。この案も拍手で承認されました。これで全議案が承認されて、坂田議長、今竹書記の役目を終えて拍手の内に降壇しました。議事が終了して次に来賓挨拶へと移り、まず東印工組副理事長の田島一弥氏が次のように挨拶しました。「本日は塚田理事長が出席の上親しく、皆様にご挨拶申し述べた所ですが、よんどころない所用がございまして来られません。代りまして私が述べてさせていただきます。塚田理事長は皆様方に呉々も宜しくと申ししております。只今は平成3年度の総会が滞りなく終了しましてお慶び申し上げます。組合事業につきましては平素皆様方には、大変ご協力戴いております。又長島常務理事さんには当支部の常務理事として、又構改委員長を務められてご活躍されて

ます。長島さんは2年度をもちまして退任される事になり、大変残念に思っています。さて、平成2年度に行った主な事業としましては、取引先との改善を求めて、大手と協同歩調を取りまして、取引条件の見直しを進めました。又、先程、支部長のお話にもありましたが、昨年は東京に印刷組合が出来まして丁度100年目に当り、物故者の慰霊祭や、記念式典が盛大に行われまして皆様方にご協力戴きました。大変有難うございました。その他平成3年度の主な行事と致しましては、まず労働界の指導により労働時間の短縮については世間一般は労働時間は年1,800時間に向けて動いております。当面1,950時間を印刷業界は目指しております。

第3には小企業振興計画についてですが、これは小規模業者の実態を把握しその地域に密着した環境整備計画を作っていく事でありです。経営の環境整備です。第4には中小企業の2000年計画についてですが、東印工組では第3次構造改善運動を実施中で、いわゆる経営改善計画運動というのですが、この構改も明年度には終了します。21世紀に向けて、印刷産業ビジョンの素案を今年度中に策定する予定ですので、皆様方のご支援を心からお願ひ申し上げます。最後になりましたが皆様方のご健勝と京橋支部のご発展を願ひまして私の挨拶とさせていただきます。有難うございました。」(拍手)

続いては中央区役所助役の石田公威氏が挨拶に立ち次のように述べました。



区助役の石田です。本日は区長が参りましてご挨拶申し上げる所ですが、本日は公用で来る事が出来ませんので呉々も皆様に宜しく伝えて下さいとの事です。東印工組京橋支部が益々発展されると共に会員皆様方の企業が益々発展される事を願ひます。本日は総会が順調に終了しまして心からお喜び申し上げます。矢田区長からの挨拶文を私が代読させていただきます。

「皆さん今晚は、只今ご紹介戴きました中央区

「本日は東印工組京橋支部の通常総会にお招きに預り誠に有難うございます。さて去る 4 月区長選におきましては、皆様方より心暖い、力強い御支援を戴き更にもう一度、中央区長をやらせて戴く事になりました。誠に感謝に堪えません。中央区の発展と区民の幸福追求により、一層精進努力を致して参りたいと思う者であります。皆様方には平素から区政の円滑な運営のため、深いご理解と協力を賜わり、お蔭をもちまして区政も着実に進んでいる状況です。しかし乍ら本区の人口は非常に低調であります。特に夜間人口の回復は最も重要な課題です。この解決のために地元企業と官庁機構が一体となつて、伝統ある地場産業として発展して参りましたが、近年の異常な地価の高騰、従業員の不足、更に後継者難等の厳しい経営環境の中、経営者の皆様には企業の発展のため非常なご苦心をされている事と存じます。区としましてもこれらに対応するため、地場産業を含めて本区の産業の将来を展望した商工業振興基本計画を策定しました。この計画は区と業界が一体となり産業調整、流通機構の新しい調和のとれた、活気に溢れる又働き易い地域文化都市を目指すものであります。私はこの基本計画の策定を積極的に展開するため全区をあげて取組み、文字通り生々とした産業文化都市を積み上げる決意であります。しかし区の側だけでこの施策を実行する事は極めて難しい所でございます。本区の基盤産業である印刷業の皆様を中心として、多くの方々のご協力が是非必要です。

今後共、皆様方と区は一体となって地場産業の振興を果して参りますので、何卒、お力添えを賜わりますよう、厚くお願いしまして挨拶に替えさせて戴きます。有難うございました。最後に来賓の紹介があり、中央区工団連会長、児玉正己氏、中央区商工課長河野総氏、東製工組京橋支部長城所虎雄氏がそれぞれ紹介されて総会は終了し、中山副支部長の閉会の言葉で締められました。続いて別室に移り懇親会となり、製本の城所支部長の挨拶に続き、石澤顧問の音頭により一同乾杯をして後歓談に入り、皆さん料理を味わいながら話に興じていました。



# ”長寿者の集い“ 開催

6月26日(水)  
於・京橋会館

京橋支部恒例の長寿者の集いが京橋会館7階の松風の間で、正午より行われました。

当日は中山副支部長が開会のことばを述べて、東京の印刷組合百周年が昨年開かれて種々の催しが行われた事等を述べて、長寿者の方々の交歓の一時を過ごして戴きたいと挨拶しました。続いて田島支部長が次のように挨拶しました。

「本日は当支部の長寿者の集いを開催致しました所、多数の皆様がお元気に参集下さいました誠には有難く存じております。不肖私も本年はそのお仲間に入れて戴くことになりましたが、考えてみますとまだまだ70才では長寿者と言えず、自分では未だ青二才と思っております。現在は環境、衛生面での改善によりまして80才、90才でも益々お元気でおられる方々を沢山お見掛け致します。当支部最長老の瀬戸顧問も94才におなりですが、今もゴルフを楽しんでおられます。80才になって、ワンランド半をこなす方もおられます。然し乍ら一番恐れるのはボケの事でございましょう。伝聞ですが、杉並の方の老人専門の病院の院長さんが申しました。何よりも頭を使う事、無聊をテレビにまぎらわさない事、孤独感に陥らない事と聞きましたが、先ず、頭の体操として碁、将棋、マジシャンも結構、歌を詠む、俳句を作る等して老け込まない事が大切だと申しております。幸い私共印刷業は非

常に頭を使う職業です。頭を働かし、体を動かしてこれからも益々お元気で御活躍なされますようお祈りしてご挨拶にさせていただきます。」



田島支部長挨拶のあと六階の写真室にて、出席者全員37名の記念写真を撮影して、再び七階に戻り引続いて来賓挨拶で、東印工組田島副理事長は次のように述べました。

「本日は塚田理事長がお見えになり、ご挨拶申し上げます。本日は長寿者の集いにお集りに



なられた諸先輩の皆様方の元気なお姿を拝見し、喜びに堪えません。皆様ご承知のとおり、最近は大変厳しい経営環境にありまして、京橋支部でも組合員が減少しておりますが、本部と致しまして21世紀に向って何とか生残る方策を考えなければという事で、塚田理事長は、



分け“という言葉が使われていますが、こういう事を踏まえて中小企業としての基本分野を築かねばならないと思います。都議会でも2千年代に於ける印刷産業のビジョン（希望像）が作られました。東印工組としても中小としての印刷ビジョンをこれから作らねばならないと思います。又、今問題となつています労働時間短縮の事です。今後労働省でも印刷産業が長時間労働という事で、とりあえず、これからは年間1,950時間に向けて努力して行かねばならないと考えています。そのためには労使協定等の改善をしてゆかねばならず、それらを通じて明るい環境を作る必要があるかと思ひます。

さて本部では9月12日に明治神宮で、敬老の集い“を開催する予定です。どうか、77才以上の方々のご参加をお願い申し上げます。最後になりましたが、長寿者の皆様が元気でいつまでも活躍される事をお祈り致しまして簡単ですが、私の挨拶とさせて頂きます。（拍手）

次に中央区商工課長河野聡氏が挨拶して次のように述べました。

「本日は京橋支部の長寿者の集いにお招き戴き有難うございました。本日は区長が参りまして親しく皆様方にご挨拶申し上げる所ですが、只今区議会の本会議をやつてまして、どうしても席をはずせないという事で区長から挨拶状を預つて参りましたので、代読させて戴きます。

本日は東印工組京橋支部、長寿者の集いが開催され誠にありがとうございます。長い歴史と伝統を持つ京橋でございますが、今日の繁栄が



あるのも先輩やここにお集りの方々の並々ならぬご尽力と苦勞によつて築かれたものと考えます。こうした意味から先輩を厚く敬うという事は、大事な事でありますが、仲々誰にでも出来る事ではないだけに、大変良い催しだと思ひます。このように長い歴史と伝統を持つ中央区の印刷業も最近では異常な地価高騰等の結果、経営環境が厳しく、皆様方には、尚一層のご苦心をされている事と存じます。区ではこれに対応するため地元産業が一体となり、産業機能と住居機能の調和のとれた人間的な都市、活気に溢れた、働き易い町にするための中央区商工業振興基本計画を作成しました。私はこの基本計画を積極

的に展開するため、全区を挙げて取組み、文字どおり生々とした産住地区を作り上げる決意であります。しかし乍ら自治体だけでは実現できません。本区の主要な産業である印刷業の皆様のご協力、更には長寿者の皆様の長い経験に養われましたお知恵が是非必要であると思う者であります。どうぞ皆様と区が一体となって地場産業の振興にお力添えを賜りたいと思ひます。最後になりましたが、京橋支部の発展と長寿者の皆様の益々のご健勝を祈りまして挨拶とさせていただきます。（拍手）

最後に日本橋支部の河北支部長が挨拶しました。「本日は大先輩のお歴々の長寿者の集いにお招きを戴き有難うございます。常日頃は私達日本橋支部と大変懇意にして戴き感謝しております。日本橋からみますと京橋の方は兄弟分の兄であり、いつもご指導戴いており、京橋のあとに付いている次第です。昨年の中央区の産業文化展でも、京橋支部が先頭になり日本橋支部を引張つて下さり、京橋支部の皆様のお蔭で感謝しております。先程来、お話にもありましたように日本橋でもどんどん数が減つていきます。いずれ近い将来、皆様方と一緒に戴く事になろうかと思ひますが、その節はどうもお見捨てする事なく、仲間にして戴きたいと思ひます。私共は人材難で、私は16年前に支部長を経験しましたが、その後平林氏が12年も連続して支部長を続け、その後、引受る人がなく、仕方なくやる人がなければ私がやりましようという事で又私がなりましたが、私も田島支部長と同



## 「平家の山里」於・湯西川温泉、平家本陣 中央区工団連研修旅行記

6月16・17日

今年の中央区工団連の一泊研修旅行は栃木県に足を延ばして研修をすることになりました。梅雨季のこととてあきらめていたものの、出発日の六月十六日(日)は昨夜来の雨が残り、一寸がっかりした感じで中央区役所前に集合、定刻九時に三台のバスに一四三名の参加者が分乗して出発した。

幸い雨は間もなくあがり首都高速・東北自動車道と車を進め、佐野サービスエリアで小休をとり、日光宇都宮道路を經由今市インターを降りて溪谷美の竜王峡ドライブインで昼食を摂り、鬼怒川温泉から川治温泉を通り五十里(イカリ)ダムの景色を楽しみながら平家落人の里として最近観光地化して来た湯西川温泉に到着した。湯西川温泉は数年前までは非常に不便な所だったのが、東武鉄道の会津鬼怒川線の開通と有料道路の整備が進み最近観光客で賑わいを見せている山中の温泉場です。

宿泊する「平家本陣」に到着し旅装のまま講演会場に集まり一日目の研修として宇都宮の産業について講演を聞きました。

講師は宇都宮中央卸売市場場長の須藤脩氏で須藤講師は今年四月に現職になる前は市の商工関係の課長を歴任された方で宇都宮の産業について精通された方です。

宇都宮市は特長のないのが特長という程あま

り全国的には知名度がなく、関西方面に行くと栃木県存在と共に殆んど知らない人が多い市だそうです。然し最近東京の衛星都市として発達し工業団地の造成と企業誘致に努力し現在の人口は42万人を超えているが産業形態は中小企業が全体の96%(99人以下)を占めており、出荷比率は百人以上の企業が73%を占めていると云うことでバランスに欠ける面が指摘されると後は東北自動車道・北関東自動車道の要衝の地の利を生かし宇都宮テクノポリス計画の実現を目差して行くといった概要の講演が約一時間あり研修を終えて各自決められた部屋に入り旅装を解いた。宿泊する「平家本陣」は今年三月に増築オープンしただけあって広く大きな中に土地柄の落人部独特の昔を想わせるしつらえと近代的な機能をうまく取り入れた建物で、設備も心配りが行届いて経営者の努力の一端を知ることが出来た。午後六時から楽しみの懇親会



が大広間で行われたがこれが又一つの特長で、大広間に数十の囲炉裏が置かれ、炭火の周りに串にさした魚、肉、餅等が野趣豊かな感じを出している。一つの囲炉裏を十名程が囲み宴会が始められた。児玉会長の挨拶の後乾杯と型通りのセレモニーがあり懇談会が賑やかになり、カラオケで自慢の声を披露する者、講談で一席演ずる方、舞踊等々芸達者が演を競ううちにお開きとなり各自部屋に戻り旅路の夢を見た。

翌十七日(月)午前七時三十分朝食、八時三十分出発で研修二日目を迎えた。昨日来た道を引き返し宇都宮市内にある「シンガー日鋼」の工場見学のためバスは進んで行く。

シンガー日鋼と云う会社は戦時中に軍需産業として機銃や機関砲を製造するために創立した日本製鋼所宇都宮工場が戦後分離独立してパイレミン製造(株)となり、その後米国のシンガレミシンと提携して現在に至っている会社で、主として工業用ミシンを製造しており、七万坪の敷地の中に一万余坪の工場と云う東京では考えられない広々とした中に従業員七六八名で年産三十万台の生産高でその七十%を輸出している現況です。労働時間は完全八時間、週休二日制で年間三分の一は休みになる計算です。我々印刷製本業界も今後の雇用問題、時間短縮問題等を考えた時にそれぞれが勇気を持った対応が必要だと感じました。工場見学後、ドライブイン宇都宮園芸センターで昼食帰路に着き、帰着予定時刻より少し早く中央区役所前に無事到着解散しました。

(文責 中山)



# 地区だより

湊地区

## 東京湾で外国航路気分

### 豪華客船でグルメ満喫

桜前線もぼつぼつ北上しはじめ、春の気配が感じられるようになって来て、湊地区の幹事一同、なにか良い趣向はないかと協議の末、東京湾の夜景を楽しみながら杯を汲み交そうということとで船上の集りを催しました。

四月三日(木)午後六時三十分東京港日ノ出棧橋に集合しました。四月上旬の夜風は未だ寒い感じで船の到着を待ちます。

間もなく優雅な白い船体のシンフォニー号が静かに岸壁に着き私共二十九名はタラップを上って船上のロイヤルルームに案内されました。

船は定刻七時に岸壁を離れ出帆です。船は暗い海上を滑るように航行しています、見えるのは遙か彼方の街の灯がきらきらとしているだけ。ロイヤルルームの中では、和やかな懇談がフランス料理のフルコースを楽しみながら続きます。ワインの杯をかたむけながら料理の味は格別です。時の過ぎるのを忘れていると何やらデッキの方が賑やかになって来ました。ふと外に目をやると火花が上っています。船が浦安沖に来ていて東京デイズニールランドが八時二十分に打上げる火花が見物出来るように設定して

あったのです。火花を見物した後、船は帰港するため船首を東京港に向け航海を続け午後九時三十分東京港に接岸して短い航海を終りました。「絶景哉絶景哉春宵一刻値千金」(中山記)「湊の寸景」

### 湊派出所

昭和四年五月三十一日(当時は湊一丁目派出所)に中央区湊一―六―五に設置され、昭和四十八年七月に改築され現在にいたっております。町の人々が安全で住みよい町にと、六十二年の歴史を持つ湊派出所勤務の方は今日も巡回中：みなさんのご苦勞に感謝してお祭り

### お祭り

鉄砲洲神社は今年は影でした、幼い子供達には、お祭りの思い出がいっぱい：

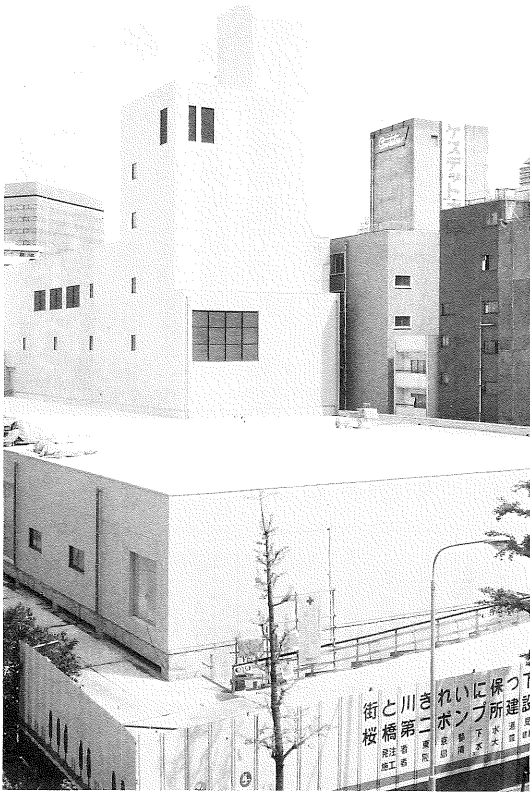
### 空地

湊地区は、最近特に空地が多くなり見通しがよくくなりました。地上げによる空洞化が進んでいる現在です。

### 棧橋第二ポンプ所(地上四階・地下三階)

本ポンプ所は、中央区(湊、入舟、新富、八丁堀、新川、銀座、本石町、室町、日本橋本町、小網町、小伝馬町、蛸殻町、茅場町、堀留、小舟町、茅場町、兜町)と千代田区(丸の内、有楽町、日比谷公園、永田町)等の雨水と汚水を収容し、汚水については、芝浦処理場へ送り、雨水はポンプ所で吸揚し隅田川へ放流するためのものです。完成は平成五年三月の予定です。

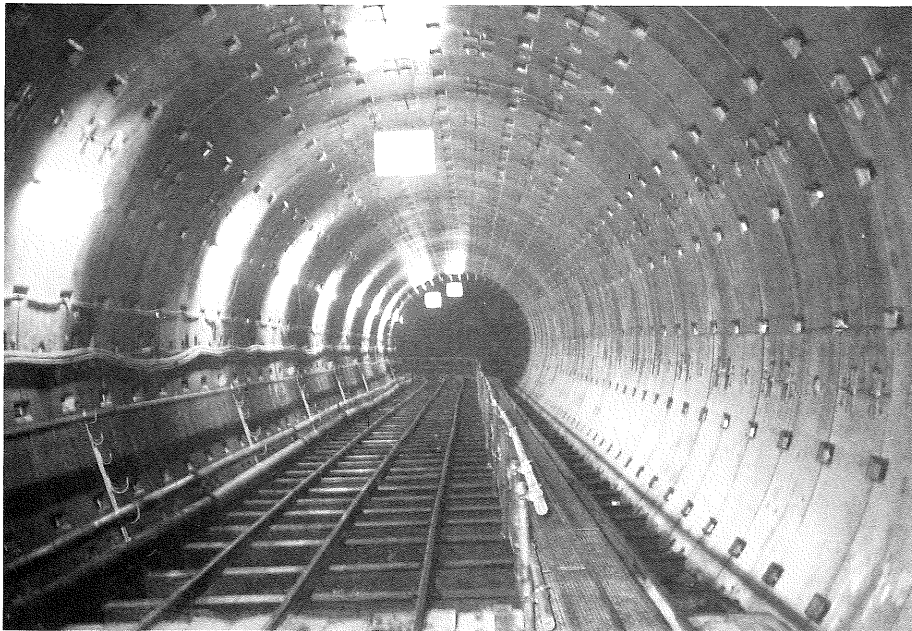




桜川敬老館より望む



鉄砲洲神社の子供みこし



送水管工事

## 支部の動き

- 4月11日(木)京橋電気安全協合理事会、(11時30分～13時)、於・京橋消防署
- 4月11日(木)京橋支部印刷人青年会定時総会、(18時30分～19時)、於・築地スエヒロ、佐藤副支部長・岩本書記出席
- 4月12日(金)部長・監査会、(11時～13時)、於・支部室、事業報告・収支決算等を検討
- 4月16日(火)部長・監査会、(15時～17時)、於・支部室、会計監査、予算案等を検討
- 4月24日(水)本部署理会、(15時～17時)、於・全印健保会館、各理事出席
- 5月9日(木)本部支部長会、(15時～17時)、於・印刷会館)、田島支部長出席
- 5月15日(水)部長・監査・地区長会、(16時～17時)、於・築地スエヒロ
- 1、支部長会報告事項
- ・通常総会開催、総代162名
  - ・印刷月間・東京印刷文化典への協力、9/19、記念式典、ホテルオークラ、会費1万8千円、支部員数の10%動員
  - ・全国生命共済制度・事務手数料の交付について、本部36銭、支部24銭
  - ・本部・支部全訂の明確化について
  - ・小企業実態調査の実施について
  - ・「虹」購読料の徴収について
- 2、支部監査交代、石塚氏に代り新富地区、ダイ・コー印刷(株)、木島照夫氏
- 3、当面する支部事業について
- 通常総会運営、議長―坂田地区長、副議長―今竹地区長、事業報告は簡単にする
- ・次期役員推選委員の選考について
  - (案)石沢・小宮山顧問、小栗・小山・田島相談役、田島支部長、近藤副支部長、永島監査、永井地区長の9名を推せん
  - ・コンピュータ研修会、5/22、16時、吉川紙商事(株)協力、IBMビル見学会と併催
  - ・長寿者の集い、6/26、三時、京橋会館
  - ・支部報発行、次回7月予定
- 5月15日(水)京橋支部通常総会、(17時30分～19時30分)、於・築地スエヒロ、本文参照
- 5月18日(土)京橋製本協組総会、(15時～16時)於・箱根湯本・天成園、小倉副支部長出席
- 5月22日(水)中央区工団連理事会、(10時30分～12時)、於・中央区役所、各理事出席
- 5月22日(木)コンピュータ研修会及IBM見学会、(16時～20時)、於・吉川紙商事(株)、IBM、24名参加
- 5月23日(金)本部通常総代会、(14時～16時)於・椿山荘、総代出席
- 5月27日(月)中央厚生事業協組総会、(18時～19時)、於・日本橋ロイヤルパークホテル
- 5月30日(木)中央区産業文化典準備委員会、(10時30分～12時)、於・中央区役所
- 6月6日(木)本部支部長会、(15時～17時)、於・印刷会館
- 1、本部事業推進協議事項について
- ・東京印刷文化典への協力について
  - ・事業者台帳の最終締切について、6月末
  - ・全国生命共済制席、支部交付金について
  - ・時短について、解説書、ポスター配布
  - ・「敬老の集い」該当者確認、申請、9/12、於・明治神宮
- 2、懸案事項について
- ・本、支部会計の検討について
  - ・準組制度について
  - ・小企業の実態調査について
- 6月6日(木)中央区工団連総会、(16時～17時)於・中央会館、田島支部長他出席
- 6月16日(日)、17日(日)中央区工団連宿泊研修旅行(9時～翌日16時)、於・湯西川温泉、平家本陣、講演会、栃木県の産業について、翌日、宇都宮市、シンガー日鋼(株)見学、印刷京橋より43名参加、会費七千円
- 6月21日(金)製本京橋支部主催、牧野氏叙勲祝賀会、(18時～20時)、於、グランドパレス、田島支部長出席
- 6月26日(水)「長寿者の集い」開催、(12時～14時)、於・京橋会館、会費5千円本文参照
- 6月28日(金)日刊食料新聞40周年記念パーティー、於・東急ホテル、田島支部長他出席して祝う

所在地移転

- ・ダイ・コー印刷(株)は新富 1-13-23、ミツヤ第 5 ビルへ移転しました。
- ・カマタ(株)は入船 3-9-2、佐久間ビル 5 F へ移転しました。
- ・(株)京屋は銀座 3-12-7 へ移転しました。

社名変更

- ・カマタ(株)(八丁堀地区、旧名鎌田印刷(株))
- ・(株)アイセル(湊地区、旧名(株)大秀社)

お悔み申し上げます

- ・(有)明興社印刷所社長、佐藤博一殿が御逝去されました。(4月)
- ・(株)精巧堂会長、田中潤殿が御逝去されました。(7月)

告知板

- ・東印工組本部の各種研修会や催しの案内は、「東京の印刷」の各号に掲載されますので、カラー綴込みをご覧下さるよう願います。
- ・本部より配付の企業実態アンケート(B4判一枚)の記入、送付にご協力下さい。郵送又は、地区幹事さん迄お渡し願います。

紙の心をお届けする  
**はがき 芳賀洋紙店**  
 HAGA PAPER CO., LTD.

本社 / 〒135 東京都江東区木場 3-14-4  
 Tel.03(3820)5611(大代) Fax.03(3820)5681  
 支店 / 八王子・仙台・前橋・名古屋・大阪・福岡・鹿児島・台北  
 物流センター / 新木場・船橋・野田(関東)・大東(関西)

すいせんのことば 常にユーザー側に立ってそのニーズに応える供給と開発を社是に「先義後利」の精神を、今後も堅持して下さい。新川地区 高千穂印刷(株) 小山英美

「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を図るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地	五〇耗	一回につき金壹万円
	左右	一四五耗	
半段	天地	五〇耗	一回につき金五千元
	左右	七〇耗	

図案・版下作成は実費頂戴いたします。  
 東京都印刷工業組合京橋支部

編集後記

本号の発行もやや遅れましたが、5月の通常総会、6月の長寿者の集い、そして中央区工団連主催の宿泊研修旅行等の原稿も何とか揃い、又湊地区の当番記事も、地域色のよく出たものとして最近の移り変りの激しさが偲ばれます。今号は原稿の不足を写真でカバーしました。各地区からの寄稿をお待ち致しています。

さて、今年も8月を前に、連日の猛暑続きや、雲仙岳の200年ぶりの噴火、フィリピンのピナツポ火山の600年ぶりの大爆発等、異常な事象が続き、その灰が成層圏まで達し今後の日照不足等の影響が心配されています。一方、経済界は連続高成長の更新迄あと一ヶ月となりましたが一方経済界の変転も急を告げ、今迄に我が世の春を謳歌した不動産、証券、銀行等のバブル経済破綻による凋落ぶりには、「禍福はあざなえる繩の如し」とはいえ、惨めなものがあります。最近の不祥事は宇宙通信網の発達で、今や世界が一つの大陸になり昔のように隔離された島国の出来事では済まされなくなつた事を、政治家も経営者も認識して開かれた政治、経済に早くしなければ、いずれ日本は世界から取り残され、かつての繁栄が夢物語となる事も遠くないのではないのでしょうか。政治家、経済人、経営者等の上立つ人の信念、倫理が問われる時代になつたのではないのでしょうか。(岩本)